

新オレンジプランについて、現状と課題

一般社団法人日本介護支援専門員協会

1. 認知症初期集中支援チーム

現状

初期集中支援チームが地域にどれだけ設置できているのか、専門家にアプローチしていただきたくても近くに存在していなかったら、介護支援専門員としては相談ができない状態です。

また、まだ量的な整備が進んでいないので、予約を取ろうとしても何か月か先になり、実効性がありません。

課題

BPSD がみられるときに、特に徘徊などは介護者がずっと見守っていることが困難なのでリスク回避のために施設入所を早めてしまう。

認知症初期集中支援チームが専門職を派遣して、初期から相談や指導を行って頂けるなら、在宅生活を継続できるだろう。

また、地域包括支援センターと認知症疾患医療センターの連携が求められているが、地域における設置が進んでいないためにできていない。

2. 医療・介護等の有機的な連携の推進

現状

医療・介護連携のマネジメントの連携ができていません。また、地域ケア会議はケアプランの適正化に向けての役割が大きく、認知症に関わる地域資源の共有や新しい社会資源の創設には役立っていません。最近では、糖尿病で認知症が進んだケースで服薬が適切にできていない、独居で認知症が進行して食事がとれなくなったためにそれに伴い服薬が適切に出来なくなったケースなど、地域に多くなっています。

課題

認知症が重度化するまでに、もっと医療・介護連携が出来れば支援できる可能性があるのに、残念ながら繋がっていない。身体合併症があるときに、適切な医療やサービスが提供されていない

3. 若年性認知症について

現状

若年の認知症の方への支援において、まだまだ理解が進んでいません。若年性認知症は高齢者向けの介護保険サービスにはなじまないことが多く、多様な社会資源の開発が求められていると感じます。現状は介護サービス事業者側の努力で、高齢の利用者と共に混乱なく介護できるように工夫してもらっています。

精神保健福祉手帳の取得にたどり着ければ、障害福祉サービスの利用という方法もありますが、就労支援サービスぐらいしかなく、やはりもっと多様なサービスが必要と感じます。

課題

若年性認知症の人に合ったサービスの提供を検討する必要がある。特に、まだ残っている能力を活かすような企画が必要だが、高齢者の利用者に合わせたサービスでは若年性の人には合わない。現状では事業者の努力に頼っているが、今後は柔軟な体制が取れるように検討が必要である。

4. 最後に、当協会の鷲見会長の言葉

認知症ケアの取り組みは様々あり連携も進められていると思います。それぞれが重ね合わせられるように働きかけていただきたいと思います。特にマネジメントは、その専門職のケア通りというわけにはいかないのが日常です。人々、地域の理解、専門職同士の認め合う関係、それらの上に立った支援を共有していただきたいものです。

介護支援専門員の新カリキュラム

法定研修における認知症を意識した カリキュラム

- 介護現場では認知症高齢者が増加しており、介護支援専門員が認知症に対応できる能力を高めるために、すべての法定研修において、認知症を学ぶ事とする。
- 認知症の原因疾患を理解して、その状態に合わせたケアマネジメントをできるようにする。
- 認知症の人への適切な医療・介護連携などを学ぶ。
- 認知症の人本人を中心とした支援を行うとともに、家族の介護負担の軽減を図る。

介護支援専門員実務研修の見直しについて

研修課目（介護支援専門員実務研修）		時間	
講義	介護保険制度の理念と介護支援専門員	2	
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基本	2	
	要介護認定等の基礎	2	
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術		
	受付及び相談と契約	1	
	アセスメント、ニーズの把握の方法	2	
	居宅サービス計画等の作成	2	
	モニタリングの方法	2	
	実習オリエンテーション	1	
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術		
	相談面接技術の理解	3	
地域包括支援センターの概要		2	
演習	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術		
	アセスメント、ニーズの把握の方法	4	
	アセスメント、居宅サービス計画等作成演習	6	
	居宅サービス計画等の作成	4	
	介護予防支援（ケアマネジメント）		4
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術		
チームアプローチ演習	3		
意見交換、講評		1	
実習	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術に関する実習		
合計		44	



任意研修であった実務従事者基礎研修を統合（＝実務研修の充実）

研修課目（介護支援専門員実務従事者基礎研修）		時間
講義	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	3
	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	7
	ケアマネジメント演習講評	6
演習	ケアマネジメント点検演習	14
	研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り	3
合計		33

研修課目（新・介護支援専門員実務研修）		時間	
講義	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	3	
	ケアマネジメントに係る法令等の理解（新）	2	
	地域包括ケアシステム及び社会資源（新）	3	
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義（新）	3	
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理（新）	2	
	ケアマネジメントのプロセス（新）	2	
	実習オリエンテーション	1	
	自立支援のためのケアマネジメントの基本		6
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎		4
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意（新）		2
介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）（新）		2	
講義・演習	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術		
	受付及び相談並びに契約	1	
	アセスメント及びニーズの把握の方法	6	
	居宅サービス計画等の作成	4	
	サービス担当者会議の意義及び進め方（新）	4	
	モニタリング及び評価	4	
	実習振り返り		3
	ケアマネジメントの展開（新）		
	基礎理解	3	
	脳血管疾患に関する事例	5	
	認知症に関する事例	5	
	筋骨格系疾患と廃用症候群に関する事例	5	
	内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例	5	
	看取りに関する事例	5	
	アセスメント、居宅サービス計画等作成の総合演習（新）	5	
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り		2	
実習	ケアマネジメントの基礎技術に関する実習		
合計		87	

介護支援専門員専門研修の見直しについて

研修課目（専門研修Ⅰ）		時間
講義	介護保険制度論	2
	対人個別援助	2
	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	1
	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	3
	保健医療福祉の基礎理解「高齢者の疾病と対処及び主治医との連携」	4
	保健医療福祉の基礎理解「社会資源活用」	3
	保健医療福祉の基礎理解「人格の尊重及び権利擁護」 ※	2
	保健医療福祉の基礎理解「リハビリテーション」 ※	3
	保健医療福祉の基礎理解「認知症高齢者・精神疾患」 ※	3
	サービスの活用と連携「訪問介護・訪問入浴介護」 ※	3
	サービスの活用と連携「訪問看護・訪問リハビリテーション」 ※	3
	サービスの活用と連携「居宅療養管理指導」 ※	3
	サービスの活用と連携「通所介護・通所リハビリテーション」 ※	3
演習	サービスの活用と連携「短期入所・介護保険施設」 ※	3
	サービスの活用と連携「介護保険施設・認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護」 ※	3
	サービスの活用と連携「福祉用具・住宅改修」 ※	3
対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）	9	
※3課目を選択して受講		合計 33

研修課目（専門研修Ⅱ）		時間
講義	介護支援専門員特別講義	2
	介護支援専門員の課題	3
	「居宅介護支援」事例研究 ※1	6
	「施設介護支援」事例研究 ※2	6
演習	サービス担当者会議演習	3
	「居宅介護支援」演習 ※1	6
	「施設介護支援」演習 ※2	6
	※1か※2を選択して受講	合計 20

研修課目（専門研修Ⅰ）		時間
講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	3
	対人個別援助技術及び地域援助技術	3
	ケアマネジメントの実践における倫理	2
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践（新）	4
	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習（新）	2
	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	12
講義・演習	ケアマネジメントの演習（新）	
	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	4
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	4
	認知症に関する事例	4
	入退院時等における医療との連携に関する事例	4
	家族への支援の視点が必要な事例	4
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	4
	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	4
	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り（新）	2
	合計	56

研修課目（専門研修Ⅱ）		時間
講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	4
講義・演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表（新）	
	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	4
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	4
	認知症に関する事例	4
	入退院時等における医療との連携に関する事例	4
	家族への支援の視点が必要な事例	4
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	4
状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	4	
合計	32	

主任介護支援専門員研修の見直しについて

研修課目		時間
講義	対人援助者監督指導（スーパービジョン）	6
	地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）	3
	人事・経営管理に関する講義	3
	主任介護支援専門員の役割と視点	5
	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	3
	ターミナルケア	3
	人事・経営管理	3
	サービス展開におけるリスクマネジメント	3
演習	対人援助者監督指導	12
	地域援助技術	3
	事例研究及び事例指導方法	18
合計		64

研修課目		時間
講義	主任介護支援専門員の役割と視点	5
	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	2
	ターミナルケア	3
	人材育成及び業務管理	3
	運営管理におけるリスクマネジメント	3
	地域援助技術	6
講義・演習	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現（新）	6
	対人援助者監督指導	18
	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	24
合計		70

主任介護支援専門員更新研修として創設

研修課目		時間
講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向（新）	4
講義・演習	主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践（新）	
	リハビリテーション及び福祉用具活用に関する事例	6
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	6
	認知症に関する事例	6
	入退院時等における医療との連携に関する事例	6
	家族への支援の視点が必要な事例	6
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	6
	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービスや施設サービス等）の活用に関する事例	6
合計		46